

# えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

## 短期集中でしっかり成果

### チーム胆沢躍動～いざ県大会へ！

5月30日に行われた地区通信陸上大会で、9種目15人の選手が2位内、または標準記録をクリアし、見事県大会出場権を獲得しました。

6月26, 27日に行われる県大会に出場する種目と選手は以下の通りです。次も期末テストをはさんでの大会となりますので、いつも通りの短期集中で工夫して練習に取り組み、まずは自己ベスト更新をめざして頑張っていきましょう。

#### ☆男子

- 1年100m 瀬谷駿太
- 1年1500m 高橋陽 千葉心人
- 23年共通1500m 石川虎太郎
- 共通800m 佐藤悠翔
- 共通4×100mR 加藤暖都 本城洋斗 石川虎太郎  
高橋優斗 千葉颯星 瀬谷駿太
- 共通砲丸投 本城洋斗



#### ☆女子

- 共通200m 小野寺優菜
- 共通800m 高橋虹羽
- 共通4×100mR 加藤璃乃 菅原菜月 小野寺優菜  
菊地はな 高橋虹羽 佐々木こころ



※補助員を募ったところ、今回も3年生の女子が6人も集まってくれました。皆さん気の利く人ばかりで、本当に助かりました。彼女たちもチーム胆沢の大切な一員です。



※コロナの影響もあってか、他校の参加者は例年よりかなり少なかったです。その中であって、胆沢中の奮闘ぶりが一層目立ちました。今回は時期が悪かったのか、1年女子からの参加がなかったなど、胆沢中のもつポテンシャルを存分に発揮したとはいえない状況であったと思います。今後も県中総体、地区陸上、地区駅伝等々陸上にはまだまだチャンスはありますので、是非積極的にチャレンジしてほしいと思います。

## 読み聞かせをしていただきました



6月2～4日の朝自習の中で、本の読み聞かせを行いました。コロナ禍の中、ボランティアの皆様には快くお引き受けいただき本当にありがとうございました。生徒たちの態度も大変立派で感心しました。

お一人、いつもの読み聞かせではなく、特攻隊員として19歳の若さで命を散らした叔父様のお話をしてくださった方がいました。自作の詩を朗読しての風変わった読み聞かせでしたが、とても心に染み入るものがありました。

読み聞かせには、・感性が豊かになる、・集中力が身につく、・知的好奇心を刺激できる、・想像力や語彙力を育てられるといった脳の活性、心の発達、ことばの発達、問題行動の抑止等に効果を発揮するだけでなく、親のストレス軽減にも効果があるといわれています。また、最近の研究によって、読み聞かせは幼児だけでなく、小学生や中学生になっても意味がある活動であることが明らかになっています。

この経験は生徒たちにとって、将来大人になり、そして親になった時、きっと何かしらの役に立つものであると思います。私も子供が小さいときに絵本を読んであげた経験が思い浮かび、心がほっこりとした気分になりました。

☆かねてから要望があった本の2冊貸し出しが始まりました。学校司書の希世先生発行の図書館だよりによると、本を一番借りている学年は2年生でした。冊数では2年D組が224冊でトップでした。

## 地区中総体に向けて頑張っています

地区中総体まで、残り2週間となりました。どの部も最後の仕上げに向けて真剣に部活動に取り組んでいます。とはいえ、殺気立っている雰囲気は一切なく、いつも通りの胆沢中生として、明るく穏やかな中にもしっかりと引きしまった雰囲気の部活動となっています。どうか最後までケガ無く、心身ともに充実した状態で本番に臨むことができるよう、休養と栄養もしっかりと取りながら日々の生活に臨んでほしいと思います。



※中庭で活動する剣道部。池も植木もない本校の中庭は、使い勝手抜群です。



※地区通信が終わった後も、黙々と走り続ける特設陸上部の長距離離班です。

## 忘れずにカギをかけて犯罪防止

何度か呼び掛けていますが、自転車のカギをかけていない人がまだまだたくさんいます。幸い「いたずらされてカギを抜き盗られた」といった問題は今のところ起きていませんが、他の場所でこれをやると思わぬ被害に遭いかねません。カギをかけていれば、「自転車を盗もう」という気持ちを抑止することが可能です。戸締りが甘い家には空き巣が入りやすいのと同じ論理です。抜き取ったカギは、しまった場所を常に同じところにするなどして、紛失しないよう適切な管理に努めていましょう。

